

## 考査項目別運用表の解釈/土木検査用

H29.4共通仕様書(仕様書) ・ H30.4土木工事施工管理の手引き(手引き) ・ 水道仕様書 ・ 下水仕様書 ・ 港湾工事共通仕様書

考査項目	細別	評価対象項目	確認要領
施工状況	施工管理	1 契約書18条第1項第1号から5号に基づく設計図書の照査を行い、施工がなされている。	事前測量・施工計画書・協議書等から照査されていることが確認できる。
		2 現場施工方法が施工計画書と一致している。	施工計画書に記載している工事機器、施工方法等について、工事写真・材料承諾書・提出資料等から確認できる。
		3 工事材料等の資料の整理及び確認がなされ、適切に管理されている。	材料承諾書・ミルシート・伝票・出荷証明書等が揃っており、所定の材料であることが確認できる。
		4 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫がみられる。	施工計画書に記載され工事写真・品質管理表・提出資料等から効果が確認できる。
		5 見本または工事写真等の整理に工夫がみられる。	見やすさの工夫(インデックス・マーキング・図面の図示等)がされていることが確認できる。
		6 立会確認等の手続きを事前に行っており、適時、的確になされている。	事前に立会願い等が提出されていることが確認できる。
		7 工事記録の整備が適時、的確になされている。	日報(詳細に記入されていること)・協議書・提出資料等から確認できる。
		8 建設廃棄物及びリサイクルへの取り組みが適切になされている。	再生材確認票・マニフェスト・産廃契約書・写真等が適切になされていることが確認できる。
		9 建退共の証紙が適切に配布され管理されている。	受払簿等で適切に配布されていることが確認できる。
		10 作業分担と責任の範囲が書面で確認できる。	下請契約が適切になされていることが確認できる。
		11 計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出している。	変更が生じた場合に、その都度工事着手前に変更施工計画書が提出されていることが確認できる。
		12 施工体制台帳、施工体系図が整備されている。	施工体制台帳・施工体系図が適切に整備されていることが確認できる。
		13 現場の施工体制が施工計画書に記載されている内容と一致している。	現場の施工体制が施工計画書と一致していることが確認できる。
		14 社内の品質証明体制が確立され、有効に機能している。	施工計画書に社内の施工体制・社内検査体制等が記載され、社内の品質管理が適切になされていることが確認できる。
		15 施工計画書に必要項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したもとなっている。	施工計画書の内容を確認し、設計図書の内容及び現場条件を反映していることが確認できる。
		16 工事の関係書類及び提出資料の資料整理がよい。	提出資料等の書類が不足等がなく整理されていることが確認できる。
		17 社内の出来形管理基準及び品質管理基準が作成され管理している。	施工計画書に社内の管理基準の仕様が明記され、本市の管理基準より厳しい条件で作成された社内基準書に基づき管理されていることが確認できる。
		18 その他 理由:	

出来形及び出来ばえ	出来形  土木一般	1	出来形管理図及び出来形管理表に創意工夫がある。	手引きに基づき作成された出来形管理計画表で管理項目に不足が無いよう出来形管理されており、且つ、管理図及び管理表がわかりやすく色分けされたりグラフ化されていること等の工夫が確認できる。
		2	自社の管理基準を設定し、管理している。	本市の管理基準より厳しい条件で規格値を定めており、且つそれにより管理していることが確認できる。
		3	出来形測定において、不可視部分が写真で判断できる。	不可視部分の出来形が写真で確認できる。
		4	写真管理基準の管理項目を満足している。	施工計画書に記載され、写真撮影項目を満足していることが確認できる。
		5	出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。	施工計画書に記載され、工事写真及び出来形管理表等で確認できる。
		6	その他(理由: )	

考査項目	細別	評価対象項目	確認要領
出来形及び出来ばえ	品質	1 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。	仕様書P1-51～52 手引きP7-3
	コンクリート構造物工事	2 コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、温度・スランプ・空気量が確認できる。	手引きP7-5～6, P7-55～56
		3 コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。	手引きP8-5
		4 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締め固め時のバイブレーターの機種、養生方法を適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)	仕様書P1-55～68
		5 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が圧縮強度試験により管理されている。	仕様書P1-65
		6 鉄筋の規格がミルシートで確認できる。	手引きP9-1
		7 鉄筋の引っ張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。	監督員の指示により試験を行った場合に確認できる。
		8 コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。	仕様書P1-61～62
		9 鉄筋の加工・組立が適正であることが確認できる。	仕様書P1-60～64 手引きP7-9～10
		10 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている	仕様書P1-63
		11 スペースの材質が適正であり、適切な配置で鉄筋のかぶりを確保している。	仕様書P1-62
		12 コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。	仕様書P1-55～59
		13 その他(理由: )	

考査項目	細別	評価対象項目	確認要領
出来形及び出来ばえ	品質	1 雨水による崩壊が起こらないように排水対策を実施している。	仕様書P1-34~42
	土工事 (切土、盛土、築堤等工事)	2 段切り等が施工前に適切に行われている。	仕様書P1-37, 45
		3 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工している。	仕様書P3-111
		4 締め固めを適切な条件で施工している。	仕様書P1-37~47
		5 筋芝または種子吹付け等を適切に行っている。	仕様書P3-154~156
		6 構造物周辺の締め固め等の処理を適正に行っている (端部も含む)	仕様書P1-37
		7 土羽土の土質が適正である。	材料承諾書及び品質管理表等で確認できる
		8 CBR試験等を行っている。(密度を含める)	手引きP7-30~32
		9 法面に有害なクラックや損傷部がない。	現場等で確認できる
		10 一層あたりのまき出し厚が適正に管理されている。	工事写真で確認できる
		11 伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足している。	仕様書P1-35, 36, 42, 43
		12 その他(理由: )	

考査項目	細別	評価対象項目	確認要領
出来形 及び出 来ばえ	品質	1 施工基面が平滑に仕上げられている。	工事写真で確認できる
		2 裏込め材、胴込めコンクリートの充てんまたは締固めが充分で、空隙が生じていない。	仕様書P3-66
	護岸・根 固め・水 制工事	3 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等で、材料のかみ合わせ又は連結が適切で、裏込め材の吸出しの恐れがない。	仕様書P3-67～68
		4 護岸工の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切である。	仕様書P3-66～67
		5 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が適切である。	仕様書P6-3～6
		6 植生工で、植生の種類、品質、配合、施工後の養生が適切である。	仕様書P3-154～156
		7 根固工、水制工、沈床工、捨石工等で、材料の連結または、かみ合わせが適切である。	仕様書P3-27～29, P6-59
		8 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足している。	仕様書P3-68
		9 指定材料の品質が証明書類で確認できる。	仕様書P2-1
		10 基礎工において、掘り過ぎが無く施工している。	仕様書P3-13
		11 コンクリートブロック等を損傷無く設置している。	工事写真, 現場等で確認できる
		12 施工にあたって、床堀箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工している。	仕様書P3-13
		13 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足している。	仕様書P2-1
		14 その他(理由: )	

考査項目	細別	評価対象項目	確認要領
出来形及び出来ばえ	品質 鋼橋工事(RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)	[工場製作関係]	
		1 鋼材の員数照合がミルシート等(現物照合を含む)で確認されている。	仕様書P3-131~132
		2 溶接作業にあたり, 作業員の技量確認を行っている	仕様書P3-136~137
		3 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む)	仕様書P3-39, 41, 150
		4 素地調整の場合, 第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。	仕様書P3-150
		5 塗料の空缶管理が, 写真等で確実に空であることが確認できる。	工事写真, 監督員の立会等で確認できる
		6 溶接作業にあたり, 溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足している。	仕様書P2-18, P3-132
		7 溶接施工に係る施工計画書を提出している。	仕様書P3-136
		8 孔あけによって生じたまくれが削り取られているなど, きめ細やかに製作している。	仕様書P3-135~136
		9 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。	工事写真, 現場等で確認できる
		出来形及び出来ばえ	品質 鋼橋工事(RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)
12 ボルトの締付け確認が実施され, 適切に記録が保管されている。	仕様書P3-31~33		
13 ボルトの締付け機や測定機器のキャリブレーションを実施している。	仕様書P3-31		
14 支承の据付で, コンクリート面のチップング及びモルタル付着が確認でき, 仕上げ面に水切り勾配がついている	仕様書P10-40		
15 高力ボルトの締め付けを, 中心から外側に向かって行っている。	仕様書P3-33		
16 高力ボルトの品質が証明書類で確認できる。	仕様書P2-1		
17 架設にあたって, 部材の応力と変形等を十分検討している。	仕様書P3-152~154		
18 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質, 性能が確保できる規模及び強度を有していることが確認できる。	仕様書P3-151~154		
19 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っている。	仕様書P3-39~42		
20 現場塗装において, 温度, 湿度, 風速等の確認を行っている。	仕様書P3-40		
		21 その他(理由: )	

考査項目	細別	評価対象項目	確認要領	
出来形及び出来ばえ	品質	【共通】		
	砂防構造物工	1	設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。	仕様書P1-51～52 手引きP7-3
		2	コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、温度・スランプ・空気量が確認できる。	手引きP7-5～6, 53～56
		3	コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。	手引きP8-5
		4	施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め時のパイプレーターの機種、養生方法等を適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)	仕様書P1-55～68
		5	型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が、圧縮強度試験により管理されている。	仕様書P1-65
		6	地山との取り合わせが適切に行われている。	関係書類等で確認できる
		7	鉄筋または鋼材の規格がミルシートで確認できる。	仕様書P2-17 手引きP9-1
		8	その他(理由: )	
			【砂防構造物工事に適用】	
		9	コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。	仕様書P1-61～62
		10	鉄筋の加工・組立が適正であることが確認できる。	仕様書P1-60～64 手引きP7-9～10
		11	施工基面が平滑であることが確認できる。	工事写真で確認できる
		12	アンカーが設計図書どおり施工してあることが確認できる。	関係書類等で確認できる
		13	ボルトの締付け確認が実施され、適切に記録が保管されている。	関係書類等で確認できる
14	ボルトの締付け機や測定機器のキャリブレーションを実施している。	関係書類等で確認できる		
15	その他(理由: )			

考査項目	細別	評価対象項目	確認要領	
出来形及び出来ばえ	品質	【共通】		
	地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸工事を含む)	1	設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。	仕様書P1-51～52 手引きP7-3
		2	コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、温度・スランプ・空気量が確認できる。	手引きP7-5～6, 53～56
		3	コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。	手引きP8-5
		4	施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め時のパイプレーターの機種、養生方法等を適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)	仕様書P1-55～68
		5	型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が、圧縮強度試験により管理されている。	仕様書P1-65
		6	地山との取り合わせが適切に行われている。	関係書類等で確認できる
		7	鉄筋または鋼材の規格がミルシートで確認できる。	仕様書P2-17 手引きP9-1
		8	その他(理由: )	
			【地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸工事を含む)】	
		9	アンカーが設計図書どおり施工してあることが確認できる。	仕様書P8-2～3
		10	ライナープレートの組立にあたり、偏心と歪みに配慮し、施工を行っている。	仕様書P3-58
		11	ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工を行っている。	仕様書P3-57
12	集・排水ボーリング工の方向・角度が適正となるように施工上の配慮がなされている。	仕様書P8-6～7		
13	その他(理由: )			



考査項目	細別	評価対象項目	確認要領
出来形及び出来ばえ	品質 舗装工事	<b>【路床・路盤工関係】</b>	
		1 施工に先立ち、CBR値を測定し、適正な舗装設計の基礎資料収集を行っている。	手引きP7-30～31
		2 路床・路盤工のプルフローリングを行っている	手引きP7-11, 21, 22, 32 " P8-5～8
		3 路盤工の密度管理が適切に行われている。	手引きP7-11～13, 21, 31 " P8-5-8
		4 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工している。	仕様書P3-81
		5 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工している。	仕様書P3-68
		6 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工している。	仕様書P1-46
		7 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工している。	仕様書P1-46
		8 その他(理由: )	
		<b>【アスファルト舗装工関係】</b>	
		9 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われており、適切な混合物の規格が確認できる。(アスファルト混合物の事前審査制度の適用工事は除く)	仕様書P3-69～70
		10 混合物の温度管理がプラント出荷時・現場到着時・舗設時等で、整理・記録されている。	仕様書P3-82～83
		11 舗設後、直ちに供用する必要のある現場で、交通開放を適切に行っている。	仕様書P3-84, 107 " P10-75, 78
		12 舗装の各層の継ぎ目が仕様書に定められた数値以上ずらしている。	仕様書P3-81, 83
		13 気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業(締固め等)の配慮が行われている。	仕様書P3-83
		14 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去している。	仕様書P3-84
		15 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足している。	仕様書P3-83
		16 密度管理が設計図書の仕様を満足している。	手引きP7-16, 54, 57, 58
17 乳剤の施工が正しく行われているか。	仕様書P3-84, 86		
18 その他(理由: )			

【コンクリート舗装工関係】		
19	設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。	仕様書P3-99~100
20	コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、温度・スランプ・空気量等が確認できる。	手引きP7-5~6, 53~56
21	コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。	手引きP8-5
22	施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設方法、養生方法等を適切に行っている。	仕様書P1-57 " P3-100~105
23	目地の処理が仕様書に定められた通りであることが確認できる。	仕様書P3-105~106
24	チェアー・タイバー等の保管管理が適正であることが確認できる。(鉄網等も含む)	仕様書P3-101~102
25	舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工している。	仕様書P3-79
26	材料が分離しないようコンクリートを敷均している。	仕様書P3-101
27	その他(理由: )	

考査項目	細別	評価対象項目	確認要領
出来形及び出来ばえ	品質	【共通】	
	法面工事	1 施工基面が平滑に仕上げられている。	仕様書P3-154～159
		2 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工している。	仕様書P3-154～159
		3 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っている。	仕様書P1-40
		4 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施している。	仕様書P1-40～41
		【種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工関係】	
		5 土壌試験を実施し、施工に反映している。	仕様書P3-156
		6 ネットの境界に隙間が生じておらず、金網の継手の重ね幅は10cm以上確保されている。	仕様書P3-157
		7 吹付け厚が均等である。	仕様書P3-157
		8 吹付け厚によって、必要な場合2層以上に分けて施工しているのが確認できる。	仕様書P3-157
		9 ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。	工事写真、現場で確認できる
		10 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足している。	仕様書P3-154
11 施工時期が定められた条件を満足している。	仕様書P3-156		
12 その他(理由: )			

法面工事の続き【コンクリート又はモルタル吹付工関係】		
13	金網等の重ね幅が10cm以上確保されている。	仕様書P3-157
14	吹付け厚さが均等である。	仕様書P3-157
15	供試体が当該現場の供試体であることが確認できる	手引きP8-5
16	跳ね返り材料が適切に処理されている。	仕様書P3-157
17	使用する材料の種類, 品質, 配合等が設計図書の仕様を満足している。	仕様書P3-157
18	金網が破損を生じていないことが確認できる。	工事写真, 現場で確認できる
19	金網のスペーサーが適切な材料を使用し, 配置が適切である。	仕様書P1-62
20	吸水性の吹付け面において, 事前に吸水させてから施工している。	仕様書P3-157
21	吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工している。	仕様書P3-157
22	法肩の吹付けにあたり, 地山に沿って巻き込んで施工している。	仕様書P3-157~158
23	その他(理由: )	
【現場打砕工関係】		
24	アンカーの施工長が確認できる。	仕様書P3-160
25	現場養生が適切に行われている。	関係書類等で確認できる
26	供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。	手引きP8-5
27	枠内に空隙がないことが確認できる。	仕様書P3-159
28	層間に剥離がないことが確認できる。	仕様書P3-159
29	跳ね返り材料が適切に処理されている。	仕様書P3-159
30	使用する材料の種類, 品質, 配合等が, 設計図書の仕様を満足している。	関係書類等で確認できる
31	その他(理由: )	

考査項目	細別	評価対象項目	確認要領
出来形及び出来ばえ	品質	【杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒等)】	
	基礎工事	1 杭に損傷及び補修痕がない。	仕様書P3-53
		2 杭の打ち止め管理方法または場所打ち杭の施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。	仕様書P3-51, 55
	(地盤改良等を含む)	3 水平度, 安全度, 鉛直度等が確認できる。(施工機械)	仕様書P3-55
		4 溶接の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。	仕様書P3-53~54, 62~63
		5 現場打杭についてトレミー管をコンクリート内に2m以上入れて施工していることが確認できる。	仕様書P3-56
		6 掘削深度, 排出土砂, 孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度, 比重等が適切に管理されている。	仕様書P3-56
		7 ライナープレートの組立にあたって, 偏心と歪みが少なくなるよう配慮されている。	仕様書P3-58
		8 裏込材注入の圧力等が施工記録により確認できる。	仕様書P3-58
		9 杭頭処理において, 杭本体を損傷していないことが確認できる。	仕様書P3-51, 56
		10 支持地盤に達していることが, 掘削深さ, 掘削土砂等により確認できる。	仕様書P3-52, 55, 57
		11 配筋, スペーサーの配置及びコンクリート打設等が, 設計図書の仕様を満足している。	仕様書P3-55~56
		12 強度確認, セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料が整理されている。	仕様書P3-49~65
13 その他(理由: )			
		【地盤改良関係】	
		14 改良材のバッチ管理記録が整理され, 設計図書の仕様を満足している。	特記仕様書 仕様書P3-114~115
		15 セメントミルクの比重, スラリー噴出量, 強度等の管理資料が整理されている。	特記仕様書 仕様書P3-114~115
		16 事前に土質試験を実施し, 改良材の選定, 必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。	特記仕様書 仕様書P3-114~115
		17 施工箇所が均一に改良されているとともに, 十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。	特記仕様書 仕様書P3-114~115
		18 その他(理由: )	

考査項目	細別	評価対象項目	確認要領
出来形及び出来ばえ	品質 コンクリート橋工事(PC及びRCを対象)	1 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。	仕様書P1-51～52 手引きP7-3
		2 コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、温度・スランプ・空気量等が確認できる。	手引きP7-5～6, 55～56
		3 コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。	手引きP8-5
		4 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締め固め時のパイプレータの機種、養生方法等を適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む。)	仕様書P1-55～68
		5 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が圧縮強度試験により管理されている。	仕様書P1-65
		6 鉄筋の規格がミルシートで確認できる。	手引きP9-1
		7 鉄筋の引っ張り強度、曲げ強度が試験値で確認できる。	監督員の指示により試験を行った場合に確認できる。
		8 コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。	仕様書P1-61～62
		9 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。	仕様書P1-63
		10 スペーサーの材質が適正であり、適切な配置で鉄筋のかぶりを確保している。	仕様書P1-62
		11 プレベーム桁のプレフレクション管理が適切に行われている。	仕様書P10-49
		12 装置(機器)のキャリブレーションが実施されている。	仕様書P3-22
		13 緊張及びグラウト管理が適切に実施されている。	仕様書P3-22～23
		14 プレストレッシング時のコンクリート強度が最大圧縮応力度の1.7倍以上であることが確認できる。	仕様書P3-22
		15 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて圧縮強度の確認を行っている。	仕様書P1-59～60 " P3-20, 22
		16 鉄筋の加工・組立が適正であることが確認できる。	仕様書P1-60～64 手引きP7-9～10
		17 その他(理由: )	

考査項目	細別	評価対象項目	確認要領
出来形 及び出来 ばえ	品質	1 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む)	仕様書P3-40～42
	塗装工 事	2 ケンが入念に実施されていることが確認できる。	仕様書P3-39～42
		3 施工時の天候, 気温及び湿度等の条件が整理・記録されている。	仕様書P3-40～42
		4 塗料を使用前に攪拌し, 容器底部に顔料沈殿がしていないことが確認できる。	仕様書P3-41
		5 塗膜に有害な付着物が無い。	仕様書P3-39
		6 塗料の空缶管理が, 写真等で確実に確認できる。	工事写真・監督員の立会等で確認できる
		7 鋼材表面及び被塗装面の汚れ, 油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。	仕様書P3-39
		8 塗り残し, ながれ, しわ等が無く塗装されている。	仕様書P3-39
		9 溶接部, ボルトの接合部分, 構造の複雑な部分について, 必要な塗膜厚を確保している。	仕様書P3-39
		10 塗料の品質が出荷証明書, 塗料成績表により, 製造年月日, ロット番号, 色彩, 数量が確認できる。	仕様書P3-42
		11 その他(理由: )	

考査項目	細別	評価対象項目	確認要領
出来形 及び出 来ばえ	品質	1 施工面の有害物を除去していることが確認できる	仕様書P3-106
	樹脂系 滑り止め 舗装工 事	2 仕様書等で定められている品質管理が実施されている	施工計画書に仕様が記載され、関係書類等で確認できる
		3 材料の品質規格証明書が整備されている	施工計画書に仕様が記載され、関係書類等で確認できる
		4 使用量が写真等で確実に確認できる	施工計画書に仕様が記載され、関係書類等で確認できる
		5 その他(理由: )	



考査項目	細別	評価対象項目	確認要領	
出来形及び出来ばえ	品質	1 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる	仕様書P1-51～52 手引きP7-3	
	トンネル工事	2	コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、温度・スランプ・空気量が確認できる。	手引きP7-5～6、P55～56
		3	コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。	手引きP8-5
		4	施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ等を行っている。	仕様書P1-55～68
		5	鉄筋の規格がミルシートで確認できる。	手引きP9-1
		6	鉄鋼の保管管理が適正であることが確認できる。	仕様書P1-61～62
		7	コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。	仕様書P1-61～62
		8	日々計測管理を行っており、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。	特記仕様書 仕様書P10-59～69
		9	金網継ぎ目を15cm(一目)以上重ね合わせていることが確認できる。	特記仕様書 仕様書P10-59～69
		10	吹付けコンクリートは浮石等を取り除いた後に、15cm以下の厚さで地山と密着するよう施工されている。	特記仕様書 仕様書P10-59～69
		11	吹付けコンクリートの打継ぎ部の施工で清掃及び湿潤状態が確認できる。	特記仕様書 仕様書P10-59～69
		12	ロックボルト挿入前にくり粉除去の清掃がなされている。	特記仕様書 仕様書P10-59～69
		13	逆巻の場合、側壁コンクリートとアーチコンクリートとの打ち継ぎ目が同一線上にないことを確認できる。	特記仕様書 仕様書P10-59～69
		14	吹付けコンクリートの配合及びロックボルトの種別、規格が設計図書の仕様を満足している。	特記仕様書 仕様書P10-59～69
		15	設計図書に定められた岩区分(支保工パターン含む)の境界を確認して施工を行っている。	特記仕様書 仕様書P10-59～69
		16	坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足している。	特記仕様書 仕様書P10-59～69
		17	ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足している。	特記仕様書 仕様書P10-59～69
		18	防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っている。	特記仕様書 仕様書P10-59～69
		19	その他(理由: )	

考査項目	細別	評価対象項目	確認要領
出来形及び出来ばえ	品質	【共通】	
	植栽工事・公園施設工事	1 材料の品質及び形状が設計図書に適合し、証明書等が整備されている。	仕様書P2-1
		2 仕様書で定められている品質管理が実施されている。	仕様書P1-15
		【植栽工事】	
		3 土壌硬度試験及び土壌試験(PH)を実施し施工に反映している。	特記仕様書
		4 樹木等に損傷、鉢ずれ等がなく保護養生(灌水, 蒸散抑制, 養生のための剪定等)が適切に行われている。	仕様書P5-29
		5 樹木等の生育に害のあるもの(植栽予定地の瓦礫, 塵芥, 雑草等及びビニール等腐食しない根巻き材)は除去されている。	仕様書P5-30
		6 余剰枝の剪定, 整形その他必要な手入れが行われている。	仕様書P5-35
		7 肥料が直接樹木の根に触れないように均一に施肥されている。	仕様書P5-33~34
		8 活着が促されるよう管理されている。	仕様書P5-29
		9 植生する樹木に応じて, 余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕している。	仕様書P3-166
		10 添木をぐらつきがないよう設置している。	仕様書P3-167
		11 樹名板を視認しやすい場所に据付けている。	仕様書P3-168
		12 その他(理由: )	
		【土工事(切土・盛土・埋戻)】	
13	適切な施工条件のもとに施工している。	仕様書P5-2~3	
14	構造物周辺の締め固め等の処理を適正に行っている。	仕様書P1-39, P3-13	
15	その他(理由: )		

【休養施設・遊戯施設・柵・照明灯・コンクリート製品等据付工事】		
16	部材の加工組み立てに欠陥がない。	仕様書P5-38
17	部材の取り付けが完全である。	仕様書P5-38～39
18	塗装面の仕上がりが良好で、塗装厚が均等である。	仕様書P5-38
19	構造物の地際の処理が適切に行われている。	仕様書P5-40
20	その他(理由: )	

出来形 及び出 来ばえ	【舗装工事】		
	21	アスファルト混合物の温度管理が、プラント出荷時、現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。	仕様書P3-82～83
	22	施工条件及び気象条件に適したアスファルト混合物、コンクリートの運搬、舗設(打設)、養生等が行われている。	仕様書P3-82～83
	23	舗装目地が現地状況に応じて適正に配置されている。	仕様書P3-94
	24	表面勾配が適正にとれており、表面に滞水がない。	現場等で確認できる
	25	その他(理由: )	
	【排水施設工事】		
	26	管渠において屈曲や沈下がない。	工事写真・出来高管理図・現場等で確認できる
	27	管渠においてシール材・滑材・接着剤等のはみ出し等がない。	工事写真・現場等で確認できる
	28	連結部(管口)の仕上げが良好である。	工事写真・現場等で確認できる
	29	側溝及び柵の天端が周辺地盤になじんでおり、適正な締め固めにより構造物周囲に沈下が見られない。	工事写真・現場等で確認できる
	30	施設内に土砂、モルタル、材料の断片等がなく清掃されている。	工事写真・現場等で確認できる
	31	その他(理由: )	
	【コンクリート構造物】		
	32	コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。(構造物支持のための基礎コンクリートや舗装路盤コンクリートは除く)	手引きP8-5
	33	施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締め固め時のバイブレーターの機種、養生方法等を適切に行っている。	仕様書P1-55～68
	34	型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が圧縮強度試験により管理されている。	仕様書P1-65
	35	スペーサーの材質が適正であり、適切な配置で鉄筋のかぶりを確保している。	仕様書P1-62
	36	その他(理由: )	

審査項目	細別	評価対象項目	確認要領
出来形 及び 出来ばえ	品質	【共通】	
	防護柵 (網)・ 標識・ 区画線 等 設置工 事	1 材料の品質規格証明書が整備されている。	施工計画書に仕様記載され、関係書類等で確認できる 仕様書P2-1
		2 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定に従い適切に施工し、規格値を満足している。	仕様書P10-18~21
		【防護柵(網)・標識設置工事】	
		3 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。	仕様書P1-15
		4 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工している。	仕様書P3-13
		5 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足している。	仕様書P10-19
		6 基礎工の天端が路面に露出する場合、支柱の防食のため中心より外側に1/10程度の勾配を設けている。	土木構造物標準図集
		7 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工している。	仕様書P3-17
		8 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工している。	施工計画書に仕様記載され、関係書類等で確認できる
		9 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足している。	工事写真・現場等で確認できる
		10 ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えている。	仕様書P3-18
	11 ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上である。	仕様書P3-18	
	12 その他(理由: )		

【区画線等設置工事】		
13	仕様書等で定められている品質管理が実施されている。	施工計画書に仕様記載され、関係書類等で確認できる
14	ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が10%以下である。	仕様書P10-21
15	塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。	工事写真・監督員の立会等で確認できる
16	区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足している。	手引きP6-33
17	区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足している。	施工計画書に仕様記載され、関係書類等で確認できる
18	区画線の施工にあたって 設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っている。	仕様書P3-18
19	区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっている。	仕様書P3-19, P10-21
20	プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布している。	仕様書P3-18
21	その他(理由: )	

考査項目	細別	評価対象項目	確認要領
出来形 及び 出来ばえ	品質	1 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。	施工計画書に仕様記載され、関係書類等で確認できる
	上水道 工事	2 材料の品質規格証明書が整備されている。	水道仕様書P44～45, 172 " P233～238
	(再生水 管工事)	3 管布設及び接合が仕様書どおり施工されている。	水道仕様書P177～179
	4 切管部の加工が規定どおり実施されている。	水道仕様書P179～180	
	5 埋戻しの転圧が仕様書どおり施工されている。	工事写真で確認できる	
	6 溶接施工上の注意事項(共通仕様書による)が守られている。	仕様書P3-139～140	
	7 溶接施工試験について所定の手続きがされ判断基準を満足している。	仕様書P3-137	
	8 溶接検査が所定通り実施されており、内容が確認でき欠陥がない。	仕様書P3-140～142	
	9 塗装に関する品質関係の試験結果が規定値、試験基準を満足しバラツキが少ない。	仕様書P3-41～42	
	10 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されている。	仕様書P3-41	
	11 通水状態、水密性の確認を行っている。	水道仕様書P183	
	12 管継ぎ手部の締め付けトルク、胴付間隔等の管理(チェックシート)を行い施工されている。	水道仕様書P189～190	
	13 溶接部の目違い、ルートギャップ等の管理(チェックシート等)を行い施工されている。	水道仕様書P191～193	
	14 弁栓類が基準どおり設置されている。	水道仕様書P207～209	
	15 その他(理由: )		

考査項目	細別	評価対象項目	確認要領
出来形 及び 出来ばえ	品質	1 仕様書で定められている品質管理が実施されている	施工計画書に仕様記載され、関係書類等で確認できる
	下水道 工事 開削 ・ 推進	2 材料の品質規格証明書が整備されている。	下水仕様書P6, 19, 25, 32, 41, 44, 48, 50
		3 管渠(管布設・矩形渠布設・推進)工において出来形管理基準を満足しており、屈曲や沈下が無い。	下水仕様書P8, 10, 26
		4 管渠に影響を与えるクラックや変形が無い。	工事写真・現場で確認できる
		5 管渠において漏水箇所が無い。	下水共仕 P8, 21
		6 管渠においてシーリング材・滑材・接着剤等のはみ出し等が無い。	下水仕様書P9, 21, 26
		7 管口の仕上げが良好である。	工事写真・現場で確認できる
		8 推進管の裏込め注入を適切に行っている。	下水仕様書P28
		9 人孔において出来形管理基準を満足し、連結部には止水シート止水ゴムが適切に使用されている。	下水仕様書P44～49
		10 人孔において各部材にはクラック等がなく漏水が無い。	下水仕様書P44
		11 人孔の足掛金物の位置方向が適切であり、鉄蓋設置において向きが正しくガタツキがなく仕上がり天端高も適正である。	下水仕様書P45
		12 インバートは形状、勾配等が適正で漏水が無い。	下水仕様書P45
		13 インバートはその表面仕上げが適切である。	下水仕様書P45
		14 人孔及び柵の天端は周辺地盤になじんでおり、周辺の復旧仕上がりが良い。	下水仕様書P44
		15 柵の取付管は理由のない屈曲や沈下が無い。	下水仕様書P51
		16 施設内に土砂、モルタル、舗装ガラ、材料の断片等がなく清掃されている。	工事写真・現場で確認できる
		17 掘削時の土留めや推進時の掘進による、周辺地盤への影響が見られない。	下水仕様書P13～18, 22, 55～60
		18 埋戻しにおいて締固めが適切な方法で施工されており、沈下が見られない。	仕様書P3-12～14
		19 その他(理由: )	



考査項目	細別	評価対象項目	確認要領
出来形及び出来ばえ	品質	1 設計図書に基づく材料の規格・材質・寸法が確認できる。	下水仕様書P32
	下水道工事	2 規定の勾配・基準高さ等が確保されている。	出来形図表・現場等で確認できる
	(シールド)	3 日々計測管理を行っており、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。	下水仕様書P33
		4 人孔、汚水柵等が適切に施工されている。	下水仕様書P44～51
		5 セグメントの継手が適切に施工され漏水がない。	下水仕様書P33～34
		6 2次覆工において漏水がない。	工事写真・現場等で確認できる
		7 裏込め注入を適切に行っている。	下水仕様書P34
		8 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリート規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。	仕様書P1-51 手引きP7-3～6
		9 コンクリート打設時の必要な供試体を採用し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。	手引きP7-5～6, 55～56
		10 コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。	手引きP8-5
		11 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設方法、養生方法等を適切に行っている。	仕様書P1-55～68
		12 その他(理由: )	

考査項目	細別	評価対象項目	確認要領
出来形 及び出 来ばえ	品質	1 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。	特記仕様書
	管更生 工事	2 材料の品質規格証明書が整備されている。	"
		3 事前調査において既設管内の布設状況, 取付管位置, 障害物及び侵入水等の状況を十分に把握し施工を行っている。	"
		4 事前処理により施工時には支障のないよう適切な措置を施している。	"
		5 仕上がり管体内面には膨れ, 皺, 扁平, 破損等がなく, 基準を満足している。	"
		6 人孔管口の仕上がりが良い。	"
		7 取付管口の仕上がりが良い。	"
		8 施設内に漏水がない。	"
		9 施工後の管に土砂, 汚物の堆積等がない。	"
		10 硬化性樹脂材を使用する場合, 硬化時の時間及び温度管理が適切に行われている。又、製管材を使用する場合, 裏込め材の注入量の記録管理が適切に行われている。	"
		11 その他(理由: )	

考査項目	細別	評価対象項目	確認要領
出来形 及び出 来ばえ	品質	1 使用材料(硬化材、助材含む)の品質証明書が提出されている。	特記仕様書 仕様書P3-114~115
	薬液注 入工事	2 使用材料(硬化材、助材含む)の入荷及び空袋で監督員の立会を行っている。	"
		3 削孔深さ、注入長の確認ができる。(監督立会)	"
		4 注入量、圧力等が確認できるよう適切な施工を行っている。	"
		5 注入効果の確認を行っている。	"
		6 観測孔及び水質等の管理が適正に行われている。	"
		7 その他(理由: )	

考査項目	細別	評価対象項目	確認要領
出来形及び出来ばえ	品質 電線共同溝工事	1 管路材の性能, 材質が適正で, 品質が確認できる。	仕様書P10-71~72
		2 埋戻し材料, 巻きだし厚, 転圧状態が適切である。	仕様書P10-71~72
		3 管路間隔, 管路条数が設計図書に適合している。	仕様書P10-71~72
		4 施工基面が平滑に仕上げられている。	工事写真・現場等で確認できる
		5 躯体及び蓋の据付けが適切に行われている。	仕様書P10-71~72
		6 管路部は, 所定の導通性を保持している。	仕様書P10-71~72
		7 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが, 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	工事写真・現場等で確認できる
		8 接地工事が規定通り, 適切に行われている。	出来形図表・現場等で確認できる
		9 アスファルト舗装を行う場合, 混合物の温度管理が, プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。	関係書類等で確認できる
		10 特殊部の施工基面の支持力が, 均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げている。	仕様書P10-71~72
		11 特殊部等の施工において, 隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設している。	仕様書P10-71~72
		12 舗装の復旧等が適時行われ, 路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保している。	工事写真・現場等で確認できる
		13 管設置において, それぞれの管の最小曲げ半径を満足している。	工事写真・現場等で確認できる
		14 その他(理由: )	

考査項目	細別	評価対象項目	確認要領
出来形及び出来ばえ	品質	1 鋼材の員数照合がミルシート等(現物照合を含む)で確認されている。	仕様書P3-131~132
	堰・水門等工事	2 主要部材の板取は, 主たる応力の方向と圧延方向と一致しており資料も整備されている。	仕様書P3-135
	(工場製作を含む)	3 主要部材の切断は自動ガス切断で行っている。また切断面の品質が規定を満足している。	仕様書P3-135
		4 鋼材の切削面の表面粗さが規定値以下である。	仕様書P3-135
		5 主要部材の自由縁が規定通り面取されている。	仕様書P3-135
		6 主要部材の曲げ加工が規定通り実施されている。	仕様書P3-136
		7 材片組合せ精度が規定値内にある。	仕様書P3-138
		8 溶接作業にあたり, 作業員の技量確認を行っている	仕様書P3-136~137
		9 溶接施工上の注意事項(仕様書等にある)が守られている。	仕様書P3-139~140
		10 溶接施工試験について所定の手続きがなされ, 判定基準を満足している。	仕様書P3-137
		11 溶接検査が所定通り実施されており, 内容が確認でき, 欠陥がない。	仕様書P3-140~142
		12 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む)	仕様書P3-40~41, 149~150
		13 素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。	仕様書P3-150
		14 塗料の空缶管理が, 写真等で確実に空であることが確認できる。	工事写真等で確認できる
		15 その他(理由: )	

調査項目	細別	評価対象項目	確認要領	
出来形及び出来ばえ	品質	【共通】		
	港湾構造物工事	1	滑り防止等環境保全に十分注意して施工している。	港湾工事共通仕様書P1-49～50
		2	既設構造物に影響がないよう十分検討して施工されている。	港湾工事共通仕様書P1-46
	(浚渫・海岸築造工事を含む)	3	航行船舶に影響のないよう十分検討して施工されている。	港湾工事共通仕様書P1-52
		4	材料等の品質に異常値が想定される場合、品質確認に必要な試験が行われている。	港湾工事共通仕様書P1-47～48
		5	気象・海象を十分調査して施工されている。	港湾工事共通仕様書P1-36～39
		6	設計図書に定められた施工上の注意事項が守られている。	特記仕様書
		7	作業船が十分管理下におかれ、統率されている。	港湾工事共通仕様書P1-47
		8	その他(理由: )	
			【浚渫、床掘関係】	
		9	浚渫工又は床掘工において、作業現場の土質条件、海象条件、周辺地域の利用状況等を考慮して、効率的作業が可能な作業船を選定している。	港湾工事共通仕様書P1-109～110
		10	土砂運搬において、施工の効率、周辺海域の利用状況を考慮して、土砂の運搬経路を決定している。	港湾工事共通仕様書P1-109～110
		11	置換材の規格・品質が試験成績表等(現物照会を含む)で確認できる。	港湾工事共通仕様書P1-49～50
		12	砲弾等の爆発物が発見された場合、関係機関への報告が速やかになされている。	港湾工事共通仕様書P1-52～53
		13	土質改良を適切に行っている。	港湾工事共通仕様書P1-143～145
		14	土捨場土量に制約がある場合、適切な土量で、許容範囲に精度よく平坦に仕上がっている。	特記仕様書
		15	土砂場制約がなく、深掘しても周辺構造物に影響がない場合、今後の埋設も考慮し深く平坦に仕上がっている。	特記仕様書
16		土質に対して、適正な船舶、機械を使用し、周辺環境への影響を最小限に抑えている。(大型船による施工で、作業日数短縮等も含む)	港湾工事共通仕様書P1-109～112	
17	その他(理由: )			

【地盤改良関係】		
18	改良材料の管理記録が整理され、品質管理を適切に行っていることが記録で確認でき、設計図書の使用を満足している。	港湾工事共通仕様書P1-47～48
19	浮泥を巻き込まないよう置換材を投入していることが確認できる。	港湾工事共通仕様書P1-145
20	サンドドレーン・砕石ドレーン、サンドコンパクションパイル及びロッドコンパクションが連続した一様な形状・品質に施工されていることが打込記録等により確認できる。	港湾工事共通仕様書P1-49～50
21	ペーパードレーンが計画深度まで損傷なく正常に形成されていることが打込記録等により確認できるとともに、打設を完了したペーパードレーンの頭部が保護され排水効果が維持されている。	港湾工事共通仕様書P1-117
22	深層混合処理の打込記録から、設計図書に定められている事項が確認できる。	港湾工事共通仕様書P1-120～121
23	前記以外の改良工法について、記録から設計図書に定められている事項が確認できる。	特記仕様書
24	盛上り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。	港湾工事共通仕様書P1-119～121
25	その他(理由: )	
【基礎工関係】		
26	捨石、被覆及び根固め石は仕様書に規定された規格を満足している。	港湾工事共通仕様書P1-109
27	捨石、被覆及び根固め石がゆるみのないよう堅固に施工され、記録により確認できる。	港湾工事共通仕様書P1-145～160
28	捨石、被覆石等の石材は扁平細長でなく、風化凍壊の恐れのないものが使用されている。	港湾工事共通仕様書P1-57
29	施工面から浮泥等の品質の害となるものを除去してから施工されている。	特記仕様書
30	マットが破損なく所定の幅で重ね合わされていることが写真記録等により確認できる。	港湾工事共通仕様書P1-123
31	マットの施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。	特記仕様書
32	捨石、被覆及び根固め石の施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。	港湾工事共通仕様書P1-159～160
33	その他(理由: )	

出来形 及び出来 ばえ	【本体:杭及び矢板, 控工関係】		
	34	鋼材の員数照合がミルシート等(現物照合を含む)で確認されている	港湾工事共通仕様書P1-58
	35	鋼材の保管にあたり, 変形及び塗覆面に損傷を与えないよう, 適切に処理されている。	港湾工事共通仕様書P1-125
	36	腹起し材を全長にわたり既定の水平高さに取り付け, ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させている。	港湾工事共通仕様書P1-128
	37	タイロッドは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されている。	港湾工事共通仕様書P1-129
	38	杭, 矢板及び鋼管に損傷及び補修痕がない。	港湾工事共通仕様書P1-125
	39	杭, 矢板及び鋼管の打止めの施工管理が整備され, かつ記録が確認できる。	港湾工事共通仕様書P1-130
	40	溶接および切断の品質管理に関して設計図書の仕様を満足している。	港湾工事共通仕様書P1-181~182
	41	その他(理由: )	
	【本体:ケーソン据付, ブロック据付関係】		
	42	ケーソン仮置に先立ち仮置場を調査し, 仮置作業が所定の位置に異状なく行われている。	港湾工事共通仕様書P1-149~150
	43	ケーソン据付に先立ち, 気象・海象等を十分調査し, 据付作業が所定の精度で行われている。	港湾工事共通仕様書P1-152
	44	ケーソン据付等及び中詰においてケーソン及び既設構造物等の破損がなく施工されている。	港湾工事共通仕様書P1-123
	45	ケーソンえい航に先立ち, 気象・海象等を十分調査し, 適切な時期を選定されている。	港湾工事共通仕様書P1-150
	46	ケーソンえい航に先立ち, 上蓋, 安全ネット又は吊り足場等を設置し, 墜落防止の措置を講じている。	港湾工事共通仕様書P1-150
	47	ケーソン注入時の隔壁の水頭差が1m以内になるように管理されている。	港湾工事共通仕様書P1-150
	48	ケーソン仮置き, 据付の時期について, 設計図書を満足するよう実施されている。	港湾工事共通仕様書P1-149~152
	49	中詰において海上漏水がないように施工されている。	港湾工事共通仕様書
	50	コンクリートブロック据付に先立ち, 気象・海象等を十分調査し, 据付作業が所定作業の精度で行われている。	港湾工事共通仕様書P1-153~154
	51	ブロック据付等においてブロック及び既設構造物等の破損がなく施工されている。	港湾工事共通仕様書P1-123
	52	その他(理由: )	



【コンクリート関係】		
53	設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。	仕様書P1-51～52 手引きP7-3
54	コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、温度・スランプ・空気量が確認できる。	手引きP7-5～6, P55～56
55	コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。	手引きP8-5
56	施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締め固め時のバイブレーターの機種、養生方法を適切に行っている。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)	仕様書P1-55～68
57	型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が圧縮強度試験により管理されている。	仕様書P1-65
58	鉄筋(PC鋼棒含む)の規格がミルシートで確認できる。	手引きP9-1
59	鉄筋の引っ張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。	監督員の指示により試験を行った場合に確認できる。
60	コンクリート打設までに錆、泥、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。	仕様書P1-61～62
61	鉄筋の加工・組立が適正であることが確認できる。	仕様書P1-60～64 手引きP7-9～10
62	圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている	仕様書P1-63
63	スペーサーの材質が適正であり、適切な配置で鉄筋のかぶりを確保している。	仕様書P1-62
64	コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。	関係書類等で確認できる
65	プレビーム桁のプレフレクション管理が適切に行われている。	仕様書P10-45
66	装置(機器)のキャリブレーションが実施されている。	仕様書P10-49
67	緊張及びグラウト管理が適切に実施されている。	仕様書P3-21～23
68	プレストレス時のコンクリート強度が最大圧縮応力度の1.7倍以上であることが確認できる。	仕様書P3-22
69	その他(理由: )	

【裏込め工関係】		
70	裏込めが既設構造物及び防砂目地板の損傷に注意して施工され、記録により確認できる。	港湾工事共通仕様書P1-172
71	防砂シートの敷設において、破損及び所定の重ね合わせが記録により確認できる。	港湾工事共通仕様書P1-172
72	その他(理由: )	
【付属工関係】		
73	付属工の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られている。	特記仕様書
74	溶接及び切断の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。	関係書類等で確認できる
75	その他(理由: )	
【その他】		
76	工事期間中、1日1回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。	特記仕様書
77	その他(理由: )	

考査項目	細別	評価対象項目	確認要領
出来形及び出来ばえ	品質	【維持工事(清掃工, 除草工, 付属物工, 除雪, 応急処理等)】	
	維持修繕工事	78 使用する材料の品質・形状等が適切であり, かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っている。	—
		79 構造物の劣化状況をよく把握して, 適切な対策を施している。	—
		80 監督職員の指示事項に対して, 現地状況を勘案し, 施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいる。	—
		81 緊急的な作業において, 迅速かつ適切に対応している。	—
		82 その他(理由: )	
		【修繕工事(橋脚補強, 耐震補強, 落橋防止等)】	
		83 使用する材料の品質・形状等が適切であり, かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っている。	—
		84 構造物の劣化状況をよく把握して, 適切な対策を施している。	—
		85 監督職員の指示事項に対して, 現地状況を勘案し, 施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいる。	—
		86 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っている。	—
	87 その他(理由: )		



考査項目	細別	評価対象項目	確認要領
出来形及び出来ばえ	品質	【共通】	
	複合工事	1 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。	施工計画書に仕様書が記載され、関係書類等で確認できる
		2 材料の品質規格証明書が整備されている。	施工計画書に仕様書が記載され、関係書類等で確認できる 仕様書P2-1
	二次製品+舗装	3 JIS規格外品について、仕様書で規定する規格、品質を満足している。	施工計画書に仕様書が記載され、関係書類等で確認できる
		4 基礎地盤の整形、清掃、湧水処理等が適切に実施されていることが確認できる。	工事写真等で確認できる
		5 二次製品の保管、吊り込み、据え付け等に十分注意を払っていることが確認できる。	工事写真等で確認できる
		6 土留めウエルポイント等の仮設が設計図書に基づき適切に施工・管理されていることが確認できる。	工事写真等で確認できる
		7 その他(理由:	
		【擁壁類(補強土擁壁は除く)】	
		8 胴込コンクリート、裏込材の充填が十分で空隙が生じていない。	仕様書P3-66
		9 基礎コンクリート及び天端等の調整コンクリートにクラック等の欠陥がない。	工事写真・現場等で確認できる
		10 材料の連結または、かみ合わせが適切である。	工事写真・現場等で確認できる
		11 端部における地山とのすりつけが適切である。	工事写真・現場等で確認できる
		12 丁張りを2重、3重に設けるなど、法勾配、裏込め材の厚さの確保のため細心の注意を払っている。	工事写真・現場等で確認できる
		13 コンクリート板擁壁工の施工にあたり、ソイルコンクリートの配合、練混ぜ、打込み、締固め及び養生が適切に行われている。	施工計画書に仕様書が記載され、関係書類等で確認できる
		14 その他(理由:	
		【用排水施設】	
	15 位置、方向、高さ、勾配等について前後の施設又は地形になじみよく施工されている。	仕様書P10-7	
	16 不等沈下防止に配慮して、基礎地盤も締固めが特に入念に行われている。	工事写真・現場等で確認できる	
	17 呑み口、吐口、集水桝等の取り付けコンクリートにクラック等の欠陥がない。	工事写真・現場等で確認できる	
	18 施設の流末は浸食、滞留等が生じないよう処理されている。	工事写真・現場等で確認できる	

19	不等沈下の発生がなく、基礎コンクリートの亀裂や継目部からの漏水も見られない。	工事写真・現場等で確認できる
20	継目部の目地モルタルが適切に施工されている。	工事写真・現場等で確認できる
21	製品周辺の盛土、埋戻土の施工にあたり、巻出し、転圧が適切に施工されている。	工事写真・現場等で確認できる
22	製品の継目部には隙間、ズレがなく、適切に施工されている。	工事写真・現場等で確認できる
23	その他(理由:	
<b>【路床・路盤工関係】</b>		
24	施工に先立ち、CBR値を測定し、適正な舗装設計の基礎資料収集を行っている。	手引きP7-30~31
25	路床及び路盤工のプルフローリングを行っている。	手引きP7-11, 21, 22, 32 " P8-5~8
26	路盤工の密度管理が適切に行われている。	手引きP7-11~13, 21, 31 " P8-5-8
27	路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工している。	仕様書P3-81
28	路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工している。	仕様書P3-68
29	路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工している。	仕様書P1-46
30	路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工している。	仕様書P1-46
31	その他(理由:	
<b>【アスファルト舗装工関係】</b>		
32	設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われており、適切な混合物の規格が確認できる。 (アスファルト混合物の事前審査制度の適用工事は除く)	仕様書P3-69~70
33	混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。	仕様書P3-82~83
34	舗設後、直ちに供用する必要のある現場で、交通開放を適切に行っている。	仕様書P3-84, 107 " P10-75, 78
35	舗装の各層の継ぎ目が仕様書に定められた数値以上ずらしている。	仕様書P3-81, 83
36	気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業(締固め等)の配慮が行われている。	仕様書P3-83
37	舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去している。	仕様書P3-84
38	縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足している。	仕様書P3-83
39	密度管理が設計図書の仕様を満足している。	手引きP7-16, 54, 57, 58
40	乳剤の施工が正しく行われているか。	仕様書P3-84, 86
41	その他(理由:	